

横浜市緑区民文化センター

令和4年度 事業計画書

指定管理者

みどりアート&メディアパートナーズ

1 令和4年度の緑区民文化センター指定管理遂行にあたっての基本方針 (重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨(5か年の方針と令和4年度の位置づけ)

文化芸術を通じて地域の人と人の絆をつくることを一番の目標にします。5か年間を通じた変わらない方針です。令和4年度は、元年度末から続いた新型コロナウイルスの影響が減少することを想定する一方で、感染状況がそれほど好転しないケースも見据えます。人と人が対面で触れ合い感染リスクを高めないよう配慮します。実際に人を集める催しとともに、情報通信技術(ICT)を活用します。オンライン併用で人と人の絆を補完していきます。

感染状況に対応しながら、センターで利用者とともに開催する事業と、スタッフが外に出てさまざまな市民や団体、行政と連携して開催する事業を、安全・安心に実現します。ホールマネジメントにとどまらず、まちマネジメントに力を注ぎます。館内では消毒作業など衛生管理を徹底します。マスクを着用し、適切な社会的距離を取るよう引き続き利用者に協力を求めます。

ポストコロナの時代を想定し、4つの基本方針である①生活の場の文化芸術・暮らしの文化の実現、②すべての人のための新しいヒロバの運営、③4拠点をつなぐまちづくり、④施設の適正な管理・利用促進・経営の安定、への取り組みを強化します。

また、令和3年度の天井工事が終了することを受け、ホールを含めた全館稼働の万全な態勢を築きます。

文化的コモンズの醸成、ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)の形成に力を尽くします。地域文化を担う次世代の育成に務めます。そうした活動を通じて地域の課題解決の一翼を担いたいと思います。

東急線、JR横浜線、横浜市営地下鉄グリーンラインの4駅を中心に発展した緑区で、それぞれの地域住民を結びつけます。「アートによる緑区の魅力発信事業」を継続し、古くからある自治組織や商店街の人々と、新しく移り住んだ人々を結びつけます。緑地や農地を守る人々、企業や研究・生産施設で働く人々、教育機関で学ぶ人々、社会貢献に取り組む人々、シニア世代など地域での暮らしや文化を楽しむ人々を結びつけます。

指定管理の4年目にあたる令和4年度は、引き続き「安心して文化を楽しもう」を合言葉にします。コロナ禍で、不安を抱えながら暮らす市民に、文化に触れる喜びを提供していきたいと思えます。自粛を強いられた利用者、表現の場を失ったアーティストたちの双方の思いにこたえる館の運営にあたります。社会不安のときこそ文化が求められていることを実感した経験を生かし、ポストコロナ時代の「魅力ある表情の館」を目指します。

(2) 重点項目(各項目の取組内容に関して、要点を捉え、分かりやすく記載してください。)

ア 生活の場と文化芸術、暮らしの文化の提供

*地域へのアウトリーチ事業と地元アーティスト支援を実現するための事業「みどり街角アート」(仮称)を実施します。この事業は令和元年度、2年度、3年度で展開した「midori art diary」、
「アートによる緑区の魅力発信事業」、「よこはま縁結び講中」の3本柱からなります。地元アーティ

ストと連携したそれぞれの事業を有機的に結びつけます。文化支援パートナーをはじめとした参加者が一堂に会し、さらに多様な館の利用者が集まるオープンデーを開催します。一連の取り組みを“文化の入会地、づくりの中核とし、文化的コモンズ形成に力を尽くします。緑区民音楽祭実行委員会、東洋英和女学院大学、神奈川県ユニセフ協会などさまざまなプレーヤーとの連携を深めます。すべての世代が創造性をはぐくみ豊かな情操を養えるよう良質な文化芸術を提供していきます。

イ すべての人のための「新しいヒロバ」の運営

すべての人のヒロバづくりは、ソーシャル・インクルージョンの取り組みで実現させます。世界のドキュメンタリー映画を観賞するSDGs映画上映会、主に親子向けのズーラシアンプラス公演、シニア向けの「脳トレゲーム（eスポーツ）講習会」などの実施で、社会の幅広い層が利用しやすい運営をします。みどり国際交流ラウンジと連携し、外国人が来館しやすい雰囲気づくりに努めます。専門性の高い組織による施設運営に努めるとともに、文化芸術に関心のない区民も気軽に立ち寄れるような工夫を進めます。

ウ 4拠点（鴨居～中山～十日市場～長津田）をつなぐまちづくり

「アートによる緑区の魅力発信事業」は3年目になり、山下地域交流センターでの催しなどで4拠点の人々との絆をさらに深めます。「よこはま縁結び講中」事業は2年目となり、前年度制作の土絵の展示活用や後継事業を実施します。長津田から一番遠い拠点の鴨居駅周辺の人々へのアプローチを強めます。

エ 施設の適正な管理・利用促進・経営の安定

新型コロナウイルス感染防止、防災や個人情報保護に引き続き力を尽くします。インフルエンザやノロウイルスなどの感染症に注意し衛生管理を徹底します。

指定管理を担う共同事業体（JV）の特徴を生かします。構成団体のネットワーク力、技術力、発信力で、コンテンツや広報をさらに充実させ、館の存在感を高めます。

舞台の専門知識をもつスタッフによるきめ細かな「ステージコンシェルジュ」により、総合的なアドバイスで、一般の市民、企業や商店街などが主催する催しの完成度が高まるようサポートします。

地域文化を支える人材を発掘し「ファシリテーター」を養成し各種団体と連携しながらイベントの開催を目指します。

「みどり事業ウォッチャー」と意見交換を密にし、地域の人々の率直な気持ちをくみ取り、事業企画、運営改善に役立てます。

コロナ禍で「配信の取り組み」は文化施設の新たな活動分野となりました。文化活動がままならず苦勞している利用者、文化支援パートナーなどと積極的に協働します。その願いを実現できるような情報やサービスを提供し、区民の文化活動を支援していきます。

(3) 数値目標等（(2)ア～オの各項目について、数値目標等を設定してください。）

ア 生活の場と文化芸術、暮らしの文化の提供

*まちをアートで彩る事業「みどり街角アート」を開催

→「midori art diary」、「アートによる緑区の魅力発信事業」、「よこはま縁結び講中」は4月から準備を始め、今秋から冬にかけて実施

→オープナーは11月5日開催 集客目標約500人

*天井工事完了のリニューアルオープン記念のコンサート、寄席を開催

→4～6月に6回 集客目標約1000人

*芸術鑑賞系のアートエントランスを本格的に再開

→年8回 年間集客目標約2000人

（6月11日のみどりアートパーク寄席はリニューアル記念も兼ねる）

*地域資源を生かし気軽に文化に触れる事業「緑でつなぐシリーズ」を実施。コンサートや寄席、区役所ロビーコンサートを開催し、緑区が生んだアーティストを積極的に起用

→年6回 年間集客目標約500人

*緑区民音楽祭実行委員会の新人演奏会を開催

→年1回、9月11日 集客目標約200人

*フィリアホールとの連携コンサートを開催

→年3回 年間集客目標750人

イ すべての人のための「新しいヒロバ」の運営

*SDGs映画上映会を月1回、1日2回のペースで開催

→年24回 年間集客目標約720人

*SDGs環境フォーラム「食」を開催

→9月10日（土） 集客目標約200人

*脳トレゲーム（eスポーツ）体験会や大会を開催

→年4回 年間集客目標約50人

*親子のズーラシアンプラス公演を開催

（目標は「アートエントランス」に集約）

ウ 4拠点（鴨居～中山～十日市場～長津田）をつなぐまちづくり

*アートによる緑区の魅力発信事業を開催

（目標は「みどり街角アート」に集約）

*よこはま縁結び講中を開催

→年1回 参加目標約20人

*ファシリテーター養成講座を開催

→年2回 参加目標約20人

エ 施設の適正な管理・利用促進・経営の安定

*コンクールの誘致

→かながわ音楽コンクール、国際バイオリンコンクールなど年10回

*利用者の率直な意見を聞くアンケート、利用者懇談会の実施

→アンケートと懇談会を合わせて3カ月に1回程度実施

*事業ウオッチャーとの意見交換会を開催

→意見交換会を年4回程度開催

*広報の展開、新聞やSNS、地域紙の記事、新聞広告などで知名度アップ

→紙媒体だけで年30件以上の掲載

2 令和4年度の文化事業の方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨

指定管理期間4年目となる令和4年度は、今まで一貫して取り組んできたことをさらに発展させ結実させるとともに、新たな取り組みをスタートさせることで、次年度の指定管理期間最終年で開館10周年を迎える令和5年度に向けてさらなるプレゼンスの向上を目指します。

天井改修工事を終えホールが本格稼働する4月から6月にかけては、再開を待ち望んでくださった方々への期待に応えるべく「リニューアルシリーズ」として「緑区民音楽祭ふれあいコンサート」や区内在住の落語家による落語会、ズーラシアンプラスの演奏会など多彩な公演を実施します。

また、秋に予定している「オープンデー」は、指定管理初年度は台風接近、2年目はコロナ禍、3年目はホールの天井改修工事でいずれも実施できなかったため、満を持しての開催となります。

コロナ禍でもできることを万全の対策を講じながら実施するほか、延期になった事業のリチャレンジやポストコロナの取り組みも推進します。

(2) 重点項目

①ソーシャルインクルージョンとSDGsを意識した事業展開

- ・すべての人のための「新しいヒロバ」の運営を目指し、インクルーシブダンスワークショップの拠点、SDGs事業の拠点となることで人と情報が集まる文化的コモンズを形成します。

②連携強化の継続

- ・パートナーシップ協定を結んでいるズーラシアンプラスや文化支援パートナーとは、引き続き団体の活動を支援するだけでなく、連携してアウトリーチなどの事業を行います。

③新たな連携の輪の拡大

- ・フィリアホール・ギャラリーあざみ野との3館連携

近隣の文化施設であるフィリアホールとギャラリーあざみ野とは、単なる情報交換にとどまらず事業の連携や調整、広報協力、相互評価に結びつく新たな枠組みとリレーションシップを構築します。

- ・「よこはま縁結び講中」

横浜北4区の文化事業連携を図る文化庁の枠組に継続して参加します。

④地域のアーティストや人材を育成

- ・新たにインクルーシブダンスワークショップとファシリテータ育成事業スタートさせるほか、質の高い音楽コンクールを誘致することで「みどりアートパーク育ち」のアーティストを育成します。

- ・地域の学校の文化活動を支援

⑤オール緑区で協働し地域や社会の課題に寄り添う

生活の場の文化芸術、暮らしの文化の提供を目指し、少子高齢化や旧住民と新住民との交流、区内の外国人へのアプローチといった様々な課題に、文化の力で真摯に向き合い、緑区役所や文化支援パー

トナー、区内施設や団体などとも広く連携しオール緑区で取り組みます。

(3) 数値目標等

①SDGsを意識したソーシャルインクルージョン事業展開

- ・避難訓練コンサート 障がいのある人や外国人も含むすべての人を対象として1回実施
- ・インクルーシブダンスワークショップとのファシリテータ育成講座年間8回実施

SDGsの拠点

- ・ドキュメンタリー映画上映会 年間24回 720名の集客
- ・カードゲーム 年間4回
- ・市内でSDGs事業に取り組んでいるキーマンを一堂に集めたシンポジウムシリーズを新たにスタートさせる 第1回は「食」をテーマに9月に開催し200名程度の参加
- ・オープンデー 地域と環境をテーマに 1回 11/5実施 500名

②連携強化の継続

ズーラシアンプラス公演 年間6回

文化支援パートナーや地域の文化団体との協働事業 5件

③新たな連携の輪の拡大

- ・フィリアホール・ギャラリーあざみ野との3館連携
連携事業や会議の実施 3回以上
天井工事中のフィリアホールのコンサート3本
- ・「よこはま縁結び講中」横浜北4区の連携の強化
3本の連携事業を提案

④地域のアーティストや人材を育成

インクルーシブダンスワークショップとファシリテータ育成事業スタート 年間8回
音楽コンクールを誘致 「みどりアートパーク育ち」のアーティストを育成 10本
学校支援

- ・中学・高校の演劇・音楽祭、美術展 5件
- ・横浜市芸術文化教育プラットフォーム 3校
- ・東洋英和女学院大学とのコラボレーション 3件

⑤緑区と協働し地域や社会の課題に寄り添う

- ・令和4年度アートによる緑区の魅力発信事業への協力 年1回
- ・地域イベント支援
- ・緑でつなぐシリーズコンサート 3本
- ・緑区役所でのロビーコンサート 4回
- ・落語会 区内在住の落語家をアドバイザー兼レギュラー出演者として2回以上実施

3 令和4年度の施設運営の方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨

コロナ禍により区民の文化芸術活動は制限されていますが、地域文化を育てるのは区民自体であると考えています。感染拡大のリスクをできる限り抑えながら文化芸術活動を続けられるよう支援するとともに区民に寄り添い、下記の運営方針に沿って取組みを進めます。

1. 子供から高齢者、障害者や在留外国人など誰もが安心・安全、公平に施設を利用することができ、多くの区民が文化的活動や芸術に触れ、参画できる拠点施設として利用環境を整える。
2. 身近な文化施設として区民の文化活動の練習・発表の場、あるいは文化活動を通じた市民の相互交流の促進を図るため、親切で安心できる施設運営に努めるとともに文化芸術に関心のない区民も気軽に立ち寄れる工夫を進める。
3. 区民文化センターを利用する人々の活動が区内のみの活動にとどまらず、次のステップを目指せるよう、新たな交流の仕組み作りを進めるとともに、区民と各種団体、文化支援パートナー、企業、学校等と相互に連携・協力することで「文化的commons」の形成に取り組む。
4. メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、新聞、web、映像、テレビ等を活用した情報発信を展開し、配信など新たな取り組みを含め、様々な角度から区民に多彩な情報が伝わる工夫をすることで、情報の力を活用した文化芸術振興を進めます。
また、自前のメディア活用、YouTubeチャンネルの充実を図ります。

(2) 重点項目 (3) 数値目標等

項目	取り組み内容	数値目標等
1	① 公式ホームページの公開・施設パンフレットの設置 ② 月刊イベントスケジュールの発行 ③ 高齢者、障がい者・外国人に向けた利用環境の整備 ④ 各種割引制度の導入	・公式ホームページより施設情報ならびにイベント情報など総合窓口として情報発信する。 ・月刊イベントスケジュールを月1回作成し、毎月3000部を市内の各施設、団体、企業へ配布する。 ・施設内の案内を見直し、障害のある人の利便性向上を図る。 ・既存の割引制度を継続し、新たに導入した区内学校割引、スタンプ会員割引を実施する。
2	① 情報コーナーの設置 ② よろず文化活動相談窓口の設置	・公演や展示チラシの配架、芸術文化団体の募集告知ができるインフォメーションボードの設置、地域の文化発信など活用できる「情報コーナー」を設置する。 ・文化活動をしていくうえでの様々な課題やガイドラインの状況について相談できる“よろず相談窓口”を受付に設置。ステージコンシェルジュによる利用者支援を実施する。

	<ul style="list-style-type: none"> ③ アンケートの実施 ④ 業務改善のPDCAの一環として責任者会議を実施 ⑤ 利用者懇談会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者及び事業参加者アンケートを通年実施する。 ・利用者アンケートを3ヶ月に1度実施する。 ・アンケート回答や利用者からのクレームや要望を基に業務改善のための“責任者会議”を月1回実施する。 ・年1回、施設運営や事業について利用者懇談会を実施する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の自治体や商店街等と交流し情報交換を行う ② 長津田・中山・十日市場・鴨居を繋ぐ文化芸術イベントを展開する。 ③ 他施設と連携し事業展開する ④ みどり事業ウォッチャーを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・連合自治会とは会合以外でもコミュニケーションを図り情報交換を行う。 ・アウトリーチ事業やアートによる緑区の魅力発信事業を開催する。 ・フィリアホールとの連携コンサートの開催や、緑公会堂とは協力体制を構築する。 ・“みどり事業ウォッチャー”との意見交換をもとに事業を企画し、自主事業開催時にはモニターを実施する。
4	<ul style="list-style-type: none"> ① 神奈川新聞を活用し情報発信を行う ② 区内文化支援パートナーから戴いた情報を「神奈川新聞紙面」で紹介 ③ メディアサポートグループを通じ施設情報を発信 ④ YouTubeチャンネルの充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川新聞の記事下5段を活用し年10回情報発信を行う。 ・「カナロコ」で年2回情報発信を行う。 ・区内文化支援パートナーから戴いた情報を「神奈川新聞紙面」で年5回紹介する。 ・メディアサポートグループ（tvk・FMヨコハマ・タウンニュース）より自主事業について情報発信を行う。 ・Youtubeチャンネルに新規で3動画追加する。

4 令和4年度の施設管理の方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨

令和3年度では、開館から8年目を迎え、施設や設備及び貸出備品・施設備品等で不具合・劣化が所どころで見受けられるようになりました。

令和4年度では、引き続き「来館者が安心できる快適な環境を提供できる」ように努めます。

建物・設備、衛生備品・衛生消耗品、貸出備品・施設備品等で、計画的な点検と維持管理・修繕に取り組み、不具合のある備品等は更新を行い、施設の機能維持(長寿命化)に取り組みます。感染症拡大防止対応には、引き続き変化に迅速に対応して最大限の対策を図っていきます。

(2) 重点項目

1. 安心・安全で快適な利用環境の維持と整備への取り組み
2. 感染症拡大防止対応への取り組み
3. 施設の美化への取り組み

(3) 具体的取組内容(実施事項)

1. 安心・安全で快適な利用環境の維持と整備への取り組み
 - ①施設総合巡視点検の実施
 - ②管理計画表に基づいた施設・設備定期保守点検の実施
 - ③館内全域の建物と設備の不具合箇所の状況確認と設備更新時期の把握と準備
 - ④館内照明のLED照明への更新
 - ⑤貸出備品・施設備品、常備在庫消耗品の保管状況確認とメンテナンスの実施
 - ⑥緊急時用備品・貯蔵品の保管状況確認とメンテナンスの実施
 - ⑦地震発生時や風水害時等の緊急点検実施
2. 感染症拡大防止対応への取り組み
 - ①感染症拡大防止に対応する館内への備品の設置と配置の変更
 - ②館内消毒作業の実施
 - ③衛生消耗品のメンテナンスと在庫管理
 - ④感染症拡大防止対応策の告知掲示
 - ⑤感染症対策に関する知識の取得
3. 施設の美化への取り組み
 - ①利用者の快適な利用環境を維持するための日常清掃と定期清掃の実施。
 - ②施設の利用状況に応じ、トイレの臨時清掃を定められた回数以上に実施する
 - ③カーペットの染み抜きを随時定期清掃で行い施設の美観維持に努める。
 - ④係法令を遵守し、害虫駆除、環境調査を実施。
 - ⑤施設の管理区域内の植栽エリア、空地、排水溝などについても必要に応じて清掃を行う。

◇業務の実施にあたっては関連法令等を遵守するとともに省資源・省エネルギーと施設の長寿命化に配慮して取り組みます。

5 令和4年度の文化事業に関する計画について

(1) 趣旨

①鑑賞系事業～多様な機会の提供 ②普及・育成・体験・発表系事業～人材育成・活用に関する取り組み ③文化的コモンズ醸成～地域活動の支援等に関する取り組み（アートによるまちづくりを含む）という3本の柱に沿った館の内外での文化事業にバランスよく取り組んでいくとともに、それぞれの取り組みを広く告知することにも力を入れます。

(2) 具体的取組内容（実施事項）※詳細は「令和4年度文化事業計画書」参照のこと

1. 文化事業実施計画

事業分類	主催・共催 の別	施設内・外 の別	事業種別①～③
SDGs ドキュメンタリー映画上映会	主催	内	①②
SDGs カードゲーム	共催	内	②③
よこはま縁むすび講中	主催	内外	②③
芸術鑑賞事業（ホール公演）みどりアートパーク寄席等	主催	内	①
芸術鑑賞事業（ホール公演）フィリアホール公演等	共催	内	①
緑でつなぐシリーズ	共催	内	①③
ズーラシアンプラスコンサート	共催	内	①③
ズーラシア写真展	主催	内	①
区役所ロビーコンサート	主催	外	①③
都筑アートプロジェクト	共催	内	②
CFX を弾こう！	主催	内	①②
各種音楽コンクール	共催	内	②
学校演劇及び音楽発表会	共催	内	②
神奈川県立白山高等学校 白山美術展	共催	内	②
横浜 18区コンサート	共催	内	①
緑・芸術文化活動支援対象事業	主催・共催	内	①③
戦争を語る	共催	内	①③
横浜音祭り 2022	主催・共催	内	①
環境プラットフォーム	共催	内	②③
みどりアートパークオープンデー	主催	内	①②③
避難訓練コンサート	主催	内	①②
みんなで演劇ワークショップ・発表会	共催	内	②③
元・神奈川新聞写真部長 大河原雅彦の写真教室	主催	内	①②
横浜市芸術文化教育プラットフォーム	その他※	外	①②

地域イベント支援	共催	外	①②③
アートによる緑区の魅力発信事業	その他※	外	①②③

※その他＝主催者からの受託、実行委員会への参画など

4. 広報関連

①自前のメディアの強化

- ・イベントカレンダーの発行…毎月 1 回、自主事業、催事スケジュールやイベントレポート、コラム等を掲載した冊子を発行し、区内外の施設や駅などにきめ細かく配布します。
- ・ホームページからの情報発信…施設や事業の情報を告知するホームページを運用します。
- ・SNS 等の運用…主に自主事業や共催事業、施設からのお知らせなどをオンタイムで告知できるツイッター、フェイスブックアカウントを運用します。
- ・公式 YouTube チャンネルで、動画を活用した PR とアーカイブを行います。

②構成団体の強みを活かした広報…神奈川新聞紙面、「カナロコ」をはじめ、地元メディアによる「メディアサポートグループ」との連携による情報発信を行います。

6 令和4年度の施設運営に関する計画について

(稼働率等貸し館の目標、開館時間、休館日、人員配置、勤務体制、研修計画、広報計画等)

(1) 趣旨

施設の管理運営については、施設の運営実績を持つ共同事業体各社から、文化施設での実務経験と各分野の専門知識を持つ経験豊かなスタッフを配置します。

組織構造は、施設管理及び総務全般を担当する「経営グループ」、事業企画・地域連携、協働推進・利用者サービス全般を担当する「まち文化推進グループ」の2部制とします。

できる限り簡潔な組織構造とすることで個々のスタッフの自律性を高めるとともに、機能の明確化により意思決定の早い効率的な組織とします。

施設の利用者が安心して利用できるようスタッフ全員で消毒作業に取り組み衛生管理を徹底します。

コロナウイルス感染症の状況次第ではアウトリーチなどを開催することでアートパークの存在感を示し、ホール天井耐震化工事が終了し安心して利用いただけるホールの周知を図ります。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

1. 稼働率等貸し館の目標

【ホール】 感染症予防対策をとり利用促進に努め前々年下半期比年 1.5%の向上を図る

【リハーサル室】 感染症予防対策をとり利用促進に努め提案書に示した 75%を目標とする

【ギャラリー】 感染症予防対策をとり利用を促進することで提案書に示した 60%を目標とする

【練習室】 感染症予防対策をとり広報強化等により前年比年2～5%の向上を図る

【会議室】 感染症予防対策をとり日夜間帯の利用促進等で前年比年2～5%の向上を図る

2. 開館時間

- ・開館時間は朝9時～夜22時

3. 休館日

- ・開館日数 347日

- ・休館日 18日

◇年末年始：12月29日～1月3日

◇メンテナンス休館日：毎月第3月曜日を予定

4. 人員配置

- ・運営スタッフ

◇館長 1名、副館長 1名

◇経営グループ13名（受付スタッフ9名含む、衛生管理スタッフ2名含む）

◇まち文化推進グループ7名（舞台技術3名含む）

5. 勤務体制

- 職員は「早番」「遅番」の2交代制と、受付スタッフ「朝番」「昼番」「夜番」の3交代制を組み合わせることにより、全体を通して一定のサービス水準を確保します。

◆1日の勤務シフト◆

基本配置	9:00	12:00	14:00	17:00	20:00	22:00	勤務時間
<事務室職員> A勤務 3名 B勤務 2名	●	●	●	●	●	●	A勤務 8:45～16:45 B勤務 14:00～22:00
<受付スタッフ> 午前 2名 午後 2名 夜間 1名	●	●	●	●	●	●	午前 9:00～13:00 午後 13:00～17:00 夜間 17:00～21:00
●-----▶ ※ホール利用、施設手続の混雑状況により「午前・午後帯」または「午後・夜間帯」に1名を増員							

6. 研修計画

施設運営を担当する職員については、高い接客能力はもとより施設や設備に関する専門知識、社会包摂と文化的commons形成への深い理解、更には安全管理や人権問題に関する知識まで幅広い対応力が必要です。これらの知識全般を全職員が理解し、公平で質の高いサービスを恒常的に提供できるよう各種研修による人材育成に努めます。帰宅困難者一時滞在施設としては、新型コロナウイルス感染症を踏まえた受け入れ時の対応などの開設訓練を実施します。

<全職員対象>

研修名	実施時期
基本業務研修	OJT
予約システム端末操作研修	OJT
舞台安全管理研修	OJT
緑区に関する知識研修	随時
接遇マナー研修	4月
人権研修	下期
インスタントシニア研修	下期
個人情報保護研修	上期
コンプライアンス研修	下期
避難訓練	上期
防災・防火訓練	上期・下期
災害時対応研修	上期
普通救命救急講習	上期

<専門業務職員対象>

研修名	実施時期
アートマネージメント研修	上期
著作権法研修	下期
舞台・音響・照明技術研修	随時

7 令和4年度の施設管理に関する計画について

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 重点項目

項目	取り組み内容	数値目標等
1	<p>安心・安全で快適な利用環境の維持と整備への取り組み</p> <p>①.施設総合巡視点検の実施</p> <p>②.管理計画表に基づいた施設・設備定期保守点検の実施</p> <p>③.館内全域の建物と設備の不具合箇所の状況確認と設備更新時期の把握と準備</p> <p>④.館内照明のLED照明への更新</p> <p>⑤.貸出備品・施設備品、常備在庫消耗品の保管状況確認とメンテナンスの実施</p> <p>⑥.緊急時用備品・貯蔵品の保管状況確認とメンテナンスの実施</p> <p>⑦.地震発生時や風水害時等の緊急点検実施</p>	<p>○業務の基準に基づき、月1回の施設総合巡視点検と定められた保守点検を定期的実施する。</p> <p>○定期保守点検を管理計画表に記載した回数で実施する。</p> <p>○毎週1回、職員による建物及び設備の日常点検を実施する。</p> <p>○舞台設備、建物関連設備、機械設備等に分類し更新時期と状態を把握し中期の修繕・更新計画を更新・策定して機能の維持・工場を図る。</p> <p>○練習室1の照明の更新</p> <p>○横浜市が所有する備品(I種)と自己の費用により購入又は調達した備品(II種)を区別して帳票に記載し管理する。</p> <p>○常備在庫消耗品の確認を行う。</p> <p>○緊急時用貯蔵品等の保管状況を確認する。</p> <p>○緊急時点検の実施。</p>
2	<p>感染症拡大防止対応への取り組み</p> <p>①.感染症拡大防止に対応する館内への備品の設置と配置の変更</p> <p>②.館内消毒作業の実施</p> <p>③.衛生消耗品のメンテナンスと在庫管理</p> <p>④.感染症拡大防止対応策の告知掲示</p> <p>⑤.感染症対策に関する知識の習得</p>	<p>○エントランスに検温器をを常設する。</p> <p>○エントランスと交流広場、トイレに手指消毒剤を配置する。</p> <p>○密を防ぐため、交流広場のイス・テーブルの配置を最小限とする。</p> <p>○ホールでの開催イベントでは、ホール出入口に検温器と手指消毒剤を設置する。</p> <p>○貸室の入れ替え時に消毒作業を行う。</p> <p>○エントランス・エレベーター・受付等の不特定多数が接触する場所の消毒を行う。</p> <p>○感染症対応消耗品を常備して在庫管理を行う。</p> <p>○来館者に対し手指消毒等の感染予防を動画モニターやポスターで呼びかける。</p> <p>○職員に対し感染症対策に関する知識教育を実施する。</p> <p>○吐瀉物に対する正しい処理方法を職員間で周知徹底するとともに処理剤やマスク、手袋などを常備する。</p>

3	<p>施設の美化への取り組み</p> <p>①.利用者の快適な利用環境を維持するための日常清掃と定期清掃の実施。</p> <p>②.施設の利用状況に応じ、トイレの臨時清掃を定められた回数以上に実施する</p> <p>③.カーペットの染み抜きを随時定期清掃で行い施設の美観維持に努める。</p> <p>④.係法令を遵守し、害虫駆除、環境調査を実施。</p> <p>⑤.設の管理区域内の植栽エリア、空地、排水溝などについても必要に応じて清掃を行う。</p>	<p>○業務の基準に定められた実施回数を遵守し、日常清掃及び定期清掃を実施する。</p> <p>○ホールで公演利用がある場合は、混雑に応じて開演前と休憩後のトイレ清掃を増加する。</p> <p>○害虫駆除を年2回実施する。</p> <p>○浮遊粉塵、二酸化炭素、一酸化炭素、温度、湿度、気流の環境測定を2か月に1回実施する。</p> <p>○施設の管理区域にかかる植栽エリアや排水溝等について清掃を実施する。</p>
---	---	--

8 その他の計画について

(危機管理体制、防犯・防災体制、その他緊急時体制、個人情報保護体制、ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い、その他の法令順守体制、自己評価・実績評価等)

(1) 趣旨

地震や火災、事故、急病人の発生などの緊急時には、個々の職員が直ちに対応に当たれることが最も重要であると考えます。そのため何時如何なる時も救命救急、初期消火、避難誘導に対応できるよう、高齢者や障がい者を含め、あらゆる方々の利用を想定した「緊急対応マニュアル」を整備し、研修と訓練を反復することで全ての職員が緊急時の対応能力を身につけるよう努めます。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

1. 危機管理体制・防犯・防災体制、その他緊急時体制

- (ア) 高齢者、障がい者、外国人を含むあらゆる人の利用を想定し、それぞれに対するリスクチェックを行ったうえで施設側のハード面、ソフト面の課題を把握し、対策と対応を「事故防止マニュアル」として整備する。
- (イ) 災害発生時の避難指示については、子どもや在留外国人にも理解しやすい、平易な表現である「やさしい日本語」を使用した避難指示原稿を整備し全職員に周知する。
- (ウ) ホール利用者に対しては利用打合せ時に「避難誘導についての手引き」を配布し、緊急時の対応を説明する。
- (エ) 自衛消防組織を確立するとともに、緊急時に職員全員が組織立った行動をおこし被害を最小限に防ぐよう、年1回の避難訓練を実施する。
- (オ) 横浜市防災計画に基づき、地震・津波・台風・停電・交通遮断・救急要請等に対応した「災害時対応マニュアル」を整備する。
- (カ) 大規模災害に備え、全職員3日分の飲料水、トイレパック、簡易毛布などを備蓄するほか、救急救助のための資材および機材（バール、のこぎり、スコップ、ヘルメット）等を常備する。
- (キ) 全職員が普通救命講習を受講し、緊急時の応急処置とAEDの取り扱いを習得する。
- (ク) 開館中は職員による定期的な館内巡回を実施するほか、監視カメラによる録画とモニターによる館内状況の監視を行い防犯に努める。
- (ケ) 必要に応じ来館者へ声かけを行うことで、具合の悪いお客様や、不審者の早期発見に努める。
- (コ) 緊急事態が発生した場合は、必要な措置を講じるとともに緊急連絡網により区を含む関係各所へ連絡し連携・協力して必要な対応にあたる。
- (サ) 防犯顧問指導のもと別途整備する「緊急対応マニュアル」に則り、定期的な訓練と研修を行うことで全職員が緊急時に的確な行動をとれるよう努める。
- (シ) 館内巡回の際、日常の衛生管理を徹底するほか、感染症予防として、施設入り口・各トイレ・ホワイエ・交流ロビーに手指消毒剤を設置する。
- (ス) 感染症の疑いのある吐瀉物の処理や高齢者の失禁に対し、衛生面での配慮を怠らず適正に対

処する。

(七)感染症対策用備品を常備するとともに、職員に対し感染症対策に関する知識教育を実施する。

2. 個人情報保護体制

(ア)個人情報の保護に関する法律その他の関連法令等を遵守し、個人情報を適切に取り扱います。また、適宜取扱いの改善に努る。

(イ)個人情報の取扱いに関する規程を明確にし、研修等を通じて全職員に周知徹底する。

(ウ)個人情報の取得に際しては、利用目的を特定して明確に示すとともに、その利用目的に必要な範囲に限り利用する。

(エ)個人情報の漏えい、紛失、改ざん等を防止するため、必要な対策を講じて適切な管理を行う。

(オ)保有する個人情報について、本人からの開示、訂正、利用停止等の依頼があった場合は、所定の手続きを行ったうえで、誠意をもって対応する。

(カ)個人情報の具体的な取り扱い方法を記載した「個人情報取扱マニュアル」を整備する。

3. ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い

(ア)苦情が発生した場合は、現場の責任者が迅速に対応する。直接、申出者から話を聞き取り施設側に問題がある場合は申出者へ心から謝罪し、改善方法を説明するとともに同じことが再発しないよう改善策を講じる。改善内容についてはロビーの掲示ボード等で公開する。

(イ)苦情の内容と対応した内容を記録した「苦情事例集」を作成し、その原因と対応を整理・蓄積することで深層的問題の発見と問題解決の糸口として活用できるようにする。作成した「苦情事例集」はサーバー管理により職員間で共有するとともに、対応に関するシミュレーションを実施することで苦情発生時に適切な対応ができるようにする。

(ウ)公の施設の指定管理者として「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に則り、「指定管理者の情報公開に関する規定」を作成し、それにもとづき情報公開の請求があった場合には適切に対応する。

4. その他の法令順守体制

◇業務の実施にあたっては、下記の条例及び規則の他、関係する法令等を遵守し適正な管理・運営に取り組む。

◇地方自治法

◇個人情報保護に関する法律

◇行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

◇横浜市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に関する条例

◇横浜市個人情報の保護に関する条例

◇横浜市暴力団排除条例

◇労働関係法令

◇施設・設備の維持保全関係法令

◇環境法令等

◇障害を理由とする差別の解消に関する法律

◇その他、施設の管理運営に必要な法令

5. 自己評価・実績評価等

(ア).毎月定期的にモニタリング会議を実施し、緑区へ運営状況の報告を行う。

(イ).利用者から戴いた意見やクレーム、要望を基に業務改善のPDCAサイクルを目的とした責任者会議を毎月実施する。

(ウ).利用者懇談会を年1回実施し、戴いた意見を基に運営や事業の改善に取り組む。

(エ).事業ウォッチャーから実施事業に対する意見・感想を聴取し改善に努める。

9 収支について

(収入確保、経費節減努力、費用対効果向上等(最大限の入場料収入の確保、企業からの協賛金・広告料収入等の獲得、利用者満足度・施設利用率の向上等))

(1) 趣旨

- ◇令和4年度予算での利用料収入(ホール利用収入)と光熱水費については、ホール天井脱落防止工事と新型コロナウイルス感染症対応で過年度の実績値は、そのままでは参考数値とはならないため、平成31年度から令和3年度までの実績値から推定数値を推定して予算数値としました。
- ◇自主事業収入と費用について、「指定管理充当事業」と「収益事業」の二つに区分し、収支管理を行います。
- ◇月次予算を組み、月間ベースでの収支の状況を把握・確認していきます。
- ◇利用者へのサービス向上につながる支出には、各月の収支のバランスを図りながら柔軟に対応していきます。

(2) 具体的取組内容(実施事項)

1.収入について

- ①.利用料収入は、ホール及び貸室ともに、平成31年度・令和2年度・令和3年度の各月実績値を考慮して、実績値の90%と推定してその確保に努めます。
- ②.自主事業収入は、「指定管理充当事業」と「収益事業」の二つに区分して収支管理を行います。
- ③.ギャラリーをはじめ貸室の稼働率アップを図り利用料の確保に取り組みます。

2.経費について

①.事務費

- ◇消耗品費は、感染症拡大防止対応を含めて増額としました。
- ◇備品購入費は、貸出・施設備品等の経年劣化による更新を想定して増額としました。

②.事業費

- ◇ホールが活用されるため「指定管理充当事業」と「収益事業」の二つに区分して、昨年に対し増額としました。

③.管理費

- ◇光熱水費については、水道料金の値上げと社会状況の不確実性を踏まえて、平成31年度・令和2年度の実績値の110%を予算額として、その範囲内に収めるように取り組みます。
⇒安全衛生及び利用者には負担をかけない範囲で省エネを励行し、節電節水に努めます。
- ◇修繕費は、経年劣化等による不具合に対応するため、設備保全費は、昨年度はホール設備の定期保守点検がなかったため、修繕費・設備保全費ともに昨年より増となりました。

令和4年度文化事業計画書（2022年度）

事業種別	担当	事業名	開催時期	開催場所	開催回数	入場・参加人員		文化事業経費				1人あたり入場・参加料	入場・参加料単価	事業概要
						募集人数(人)	延人数(人)	指定管理料充当額(千円)	入場・参加者負担額	その他(千円)	総経費(千円)			
①②	宮沢	CFXを弾こう！	4～3月	ホール	12	5	60	-180	180	0	0	有	4,000	ホール利用のない日を利用して、コンサートピアノで練習できる機会を提供 2時間×5コマ 月2～3日間実施
①②	小野	SDGsドキュメンタリー映画上映会	4～3月	ギャラリー	24	30	720	-12	144	0	132	有	600	SDGsに関連するドキュメンタリー映画上映会 2回×年間12日間開催。
②③	武富	よこはま縁むすび講中 土絵巡回展示とメンテナンス企画	4～3月	エントランス	未定	-	-	150	0	0	150	無	0	令和3年度9回のWSを経て作成した土絵を各施設に巡回展示し、修復作業を公開する
②③	政本	よこはま縁むすび講中 インクルーシブダンスWSとファシリテータ育成講座	4～3月	ギャラリー	8	40	480	360	240	0	600	有	500	東洋英和女学院大学西洋子教授によるインクルーシブダンスのWSとWSを牽引する人材育成のためのプログラム
②	共催	第37回かながわ音楽コンクール	4～7月	ホール	5	-	-	0	0	0	0	-	-	ピアノ、ユースピアノ、ヴァイオリン各部門の予選、及びフルート部門本選を実施 主催：神奈川新聞社
①③	宮沢	元・神奈川新聞写真部長 大河原雅彦の写真教室	5～10月	ギャラリー	6	20	120	-32	42	0	10	有	1,000	一般向け写真教室 受講生作品は随時ショーケース等を活用し展示
②③	共催	第7期演劇ワークショップ「みんなでワークショップ2022」	6～11月	リハーサル室	6	-	-	0	0	0	0	-	-	障がいの有無に関わらず参加者が一緒に演劇をつくるワークショップ 主催：NPO法人ぶかぶか
②③	共催	SDGsについての理解を深めよう！ カードゲーム・ワークショップ	9～3月	ギャラリー	未定	20	20	50	-	-	50	有	2000	SDGs1が掲げる達成目標について、カードゲーム体験を通して、その内容理解を深め、実践につなげていく
①	共催	リニューアルシリーズ 緑でつながりシリーズ 第6回アンサンブルブルンマ演奏会	4/3(日)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	近隣在住の世界的ホルン奏者である山岸博を迎え無料で区民に楽しんでいただく演奏会 主催：アンサンブルブルンマ
①②	政本	リニューアルシリーズ 避難訓練コンサート	4/13(水)	ホール	1	100	100	30	0	0	30	無	0	公演開催時における災害発生を想定した訓練とコンサート 出演・協力：横浜市消防音楽隊
①	石野	リニューアルシリーズ！ よこはま動物園ズーラシア 《村田園長のとっておき写真展》	5/14(土)～ 5/22(日)	ギャラリー	1	-	-	98	0	0	98	無	0	よこはま動物園ズーラシアの村田園長が園内で撮影した写真から、野生の動物を感じるとっておき写真をパネル展示
①③	石野	リニューアルシリーズ！音楽会 ズーラシアプラス＋動物スライドトーク 《ゲスト》よこはま動物園ズーラシア園長	5/21(土)	ホール	1	300	300	200	690	0	890	有	2800 1800	乳幼児児からのファミリー向けの音楽会。特別ゲストとして、よこはま動物園村田園長を迎えてのトークとスライド上映
②	共催	2022年度ピティナ・ピアノステップ 横浜北地区	5/22(日)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	誰もが参加でき、高い技術と実績のある指導者からの講評を受けられる公開ステージ 主催：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会
①	政本	リニューアルシリーズ みどりアートパーク寄席 柳亭小痴楽 昔昔亭A太郎二人会	6/11(土)	ホール	1	250	250	0	500	0	500	有	2,000	今最も注目されている若手真打二人と緑区在住の二つ目瀧川鯉丸による落語会
①	共催	横浜18区コンサート Ⅱ期 毛利文番(バイオリン)&田原綾子(ピアノ)	6/22(水)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	市内全区での若手演奏家による演奏会 主催：横浜みなとみらいホール(公益財団法人横浜芸術文化振興財団)横浜アーツフェスティバル実行委員会
①③	共催	ズーラシアプラス・ショー	6/24(金)・ 25(土)	ホール	3	165	660	-32	320	0	288	有	4,000	パートナーシップ協定を結んでいるズーラシアプラスとサクセス四重奏のサクソフォックスのコロナレーション公演
①③	共催	緑・芸術文化活動支援対象事業 第139回緑区民音楽ふれあいコンサート輝かしきカルテットの仲間たち	6/26(日)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	日本を代表する演奏家によるコンサート 出演：漆原朝子、永峰高志(バイオリン)、菅沼準二(ピアノ)、向山佳絵子(チェロ) 主催：緑区民音楽祭実行委員会
①③	政本	緑区役所お昼のロビーコンサート 緑でつながりシリーズ 珠玉のオペラアリア：北野綾子(ソプラノ)	6/29(水)	緑区役所	1	30	30	20	0	0	20	無	0	多くの区民が訪れる区役所1階ロビーでの無料公演シリーズ
②	共催	横浜市中学校(北部地区)演劇発表会	7/2(土)・ 7/26(火) ～29(金)	ホール	5	-	-	0	0	0	0	-	-	緑区及び近隣地区の中学校生徒による創作劇発表。主催：横浜市中学校演劇研究協議会
①	石野	アート エントランス 真夏の和楽遊園地(仮)	7/18(月・祝)	ホール	1	250	250	150	400	-	550	-	2,000	日本人の心情に寄り添う旋律やクラシック、現代曲を和楽器とピアノで
②	共催	神奈川県私立高等学校演劇発表会	7/20(水)～ 24(日)	ホール	4	-	-	0	0	0	0	-	-	県内の私立高等学校の演劇部 10～12校が参加する演劇発表会 主催：神奈川県私立高等学校演劇連盟
②	共催	第46回ピティナ・ピアノコンペティション地区本選	8/2(火)～ 5(金)	ホール	4	-	-	0	0	0	0	-	-	ピアノ学習者と指導者のためのコンクール 主催：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会
②	共催	第16回フレッシュ横浜音楽コンクール	8/7(日)・8(月)	ホール	2	-	-	0	0	0	0	-	-	区内の事務局のある団体による公募方式のピアノコンクール 主催：横浜音楽振興会
②	共催	第1回横浜国際バイオリンコンクール本選	8/17(水)・ 18(木)	ホール	2	-	-	0	0	0	0	-	-	国際レベルのバイオリニストの発掘を目的として水野佐知香を審査委員長として初開催 主催：横浜国際バイオリンコンクール運営委員会
②	共催	第38回かながわ音楽コンクール クリスタルコンサートvol.22	8/20(土)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	かながわ音楽コンクールの受賞者によるコンサート 主催：神奈川新聞社
①③	共催	緑でつながりシリーズ 神奈川チェンバーオーケストラ 設立記念コンサート	8/27(土)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	緑区在住の藤原歌劇団所属のソプラノ歌手、北野綾子をソリストに迎え新しい室内オーケストラの立ち上げ公演 主催：県央音楽家協会

①③	共催	BigBandNIGHT	8/28(土)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	0	幅広い年齢層を対象にしたジャズの演奏会 出演: The Bigband of ROGUES(東京キューバンボーイズJr.) 主催: Bigband Service Clinic	
①③	共催	ズーラシアンプラス新作コレクション ズー・コレッ!	9/3(土)	ホール	1	300	300	-12	120		108	有	4000	金管五重奏をはじめとする新作披露コンサート 出演: ズーラシアンプラスほか
①③	共催	戦争を語る	9/10(土)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	地域のボランティア団体による 戦争体験映画の上映と対話 主催: ごえんのちから
①②	共催	緑・芸術文化活動支援対象事業 緑区民音楽祭 新人演奏会	9/11(日)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	3月に行ったオーディションの入賞者による演奏会 主催: 緑区役所 緑区民音楽祭実行委員会
①	共催	フィリアホール 神奈川フィルの名手による 室内楽シリーズ 名曲の午後特別編 「ブラームスのピアノ五重奏曲」(仮)	9/14(水)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	2022年4月1日から2023年4月末日まで 天井改修工事を行うフィリアホールによる コンサートシリーズ 主催: フィリアホール
②③	共催	(仮称)環境プラットフォーム 第1回「食」を 考える	9/17(土)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	当館を拠点に「地球環境」を切り口に地域 ネットワークの構築を行うシンポジウム 主 催: 株式会社オオスミ
①	政本	横浜音楽祭2022みどりアートパークバース デーコンサート 村治奏一ギターリサイタル	10/2(日)	ホール	1	250	250	0	500	250	750	有	2,000	みどりアートパークの開館9周年を記念して のバースデーコンサート 協力: 緑区民音楽祭
①	共催	横浜音楽祭2020 0歳からのコンサート	10/14(金)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	出演: 成田達輝(Vn)、萩原麻未(Pf) 主催: 横浜アーツフェスティバル実行委員会 (共催)横浜市、公益財団法人横浜市芸術文 化振興財団
①③	共催	ジャズプロサテライト BigBandNIGHT	10/15(土)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	出演: The Bigband of ROGUES(東京キュー バンボーイズJr.) 主催: Bigband Service Clinic 協力: 横浜ジャズプロムナード実行委 員会
①	共催	フィリアホール 金川真弓ヴァイオリン・リサイタル	10/16(日)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	2022年4月1日から2023年4月末日まで 天井改修工事を行うフィリアホールによる コンサートシリーズ 主催: フィリアホール
①③	共催	緑でつなぐシリーズ クリスタル アンサンブル クラシック プロム ナード Vol.3	10/26(水)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	音楽界の重鎮と若手演奏家が共に作り上げ る演奏会 出演: 山岸博(ホルン)、水野佐知 香(バイオリン) 主催: クリスタルアンサンブル 事務局
①③	政本	緑区役所お屋のロビーコンサート 緑でつなぐシリーズ 落語: 瀧川鯉丸	10/26(水)	緑区役所	1	30	30	20	0	0	20	無	0	多くの区民が訪れる区役所1階ロビーでの無 料公演
①③	共催	ズーラシアンプラス ハッピーハロウィン	10/30(日)	ホール	1	300	300	-12	120		108	有	4,000	ハロウィン当日に仮装してみどりアートパーク で楽しもう! 対象: 乳幼児とファミリー 出 演: ズーラシアンプラスほか
①	政本	緑・芸術文化活動支援対象事業 第20回みどり区民アート展	10/31(月) ~11/6 (日)	ギャラリー	1	出展90	出展90	0	90	0	90	出展有 観覧無	1000	区内在住・在勤または区内サークルで活動 中の方が対象の平面作品の公募展 主催: みどり区民アート展実行委員会 後援: 緑区 役所
①②③	石野 政本	みどりアートパークオープナー	11/5(土)	全館	1	-	-	600	0	0	600	無	0	みどりアートパークの開館9周年を記念して 「地域と環境」をテーマに全館で様々なイベ ントを実施
②	共催	令和4年度 緑区児童音楽会	11/8(火)・ 10(木)・11 (金)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	緑区内の小学校3~4年生による合奏と合唱 の合同音楽発表会 主催: 緑区音楽研
②	共催	都筑アートプロジェクト2022	11/11(金) ~24(木)	ギャラリー	1	-	-	0	0	0	0	-	-	地域に埋もれた土地の記憶や風景をテーマ とした展覧会 主催: 都筑アートプロジェクト 助成: ヨコハマアートサイト
①	政本	みどりアートパーク寄席 三遊亭兼好独演会	11/20(日)	ホール	1	250	250	0	500	0	500	有	2,000	明るく楽しい高座で大人気の三遊亭兼好の 独演会に緑区在住の二つ目瀧川鯉丸が加 わって落語会
②③	共催	第7期演劇ワークショップ「みんなで作 るワークショップ2022」発表公演「表現の市場」	11/25(金) ~27(日)	ホール	3	-	-	0	0	0	0	-	-	障害のある人となない人一緒にステージを作 るワークショップの成果発表公演 主催: NPO 法人ぶかぶか
②③	石野	よこはま縁結び講中/Gあざみ野連携 大山街道を歩く	11月・ 2023年1月	区内外	2	-	-	170	15		185	有	1,000	大山街道長津田宿と鶴間宿を二回に分けて 講師とともに巡る。観るふるさと館では落語 「大山参り」を鑑賞予定
②	共催	フレッシュ横浜受賞コンサート	12/11(日)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	8月のフレッシュ音楽コンクール入賞者による 演奏会 主催: 横浜音楽振興会
①	共催	BIGBAND NIGHT	12/17(土)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	幅広い年齢層を対象にしたジャズの演奏会 出演: The Bigband of ROGUES(東京キュー バンボーイズJr.) 主催: Bigband Service Clinic
②	共催	第13回日本パッサコンクール地区大会	12/18(日)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	国内46地区で開催される全国大会に約2500 名が参加する全国屈指の規模のピアノコン クール 主催: 日本パッサコンクール横浜2 実行委員会
①③	政本	緑区役所お屋のロビーコンサート緑でつなぐ シリーズクリスマスコンサート: 東洋英和女 学院大学ハンドベルチーム	12/21(水)	緑区役所	1	30	30	20	0	0	20	無	0	多くの区民が訪れる区役所1階ロビーでの無 料公演シリーズ
②	共催	横浜市中学校(北部地区)演劇発表会	12/26(月) ~28(水)	ホール	3	-	-	0	0	0	0	-	-	緑区及び近隣地区の中学校生徒による創作 劇発表。主催: 横浜市中学校演劇研究協議 会
②	共催	神奈川県立白山高等学校 白山美術展	2023年 1/13(金) ~5(日)	ギャラリー	1	-	-	0	0	0	0	-	-	区内にあり、美術科のある県立高校の卒業 制作展 主催: 神奈川県立白山高等学校
①	共催	フィリアホール 仲道郁代・西村悟コンサート	2023年 2/11(土)	ホール	1	-	-	0	0	0	0	-	-	2022年4月1日から2023年4月末日まで 天井改修工事を行うフィリアホールによる コンサートシリーズ 主催: フィリアホール
①	石野	アート エントランス 津軽三味線二丁(仮)	2023年2月 下旬	ホール	1	250	250	100	450		550	有	2,000	前年度好評だった津軽三味線の高崎将充兄 弟による迫力の連弾。

①③	政本	緑区役所お昼のロビーコンサート 緑でつながりシリーズ 9/11 新人演奏会出場者による	2023年 3/15(水)	緑区役所	1	30	30	20	0	0	20	無	0	多くの区民が訪れる区役所1階ロビーでの無料公演シリーズ
①②	石野 他	【横浜市芸術文化教育プラットフォーム】 学校プログラム	9~12月	近隣の市立 小中学校	3	-	-	47	0	253	300	無	0	学校教育とアートをつなぐプログラムを通じて子どもたちの創造性をはぐくみ、豊かな情操を養う機会提供
①② ③	辻村 武富	地域イベント支援	通年	区内	3	-	-	300	0	0	300	-	0	区内各所でのイベントの企画、アーティストコーディネート等を要望に応じて実施
①② ③	武富 他	【地域イベント企画制作】 令和4年度アートによる緑区の魅力発信事業	8月・11月	区内	1	-	-	-309	0	4,459	4,150	無	0	アートの手法を用いて地域の魅力を発信する区役所、及び地域との協働事業 主催：緑区 区政推進課
合計							4440	1926	4131	4,962	11,019			

9,093 ←収入合計

★よこはま緑結び購中の予算がすべてつけば指定管理料充当額は68万円のマイナスになります

- ・文化事業に要した総経費は、指定管理料から充当した額と入場・参加者負担額等の合計となります。
- ・事業種別欄に、下記に当てはまるものがあれば記入してください。
- ①多様な機会の提供 ②人材育成・活用に関する取組 ③地域活動の支援等に関する取組(アートによるまちづくりを含む)
- ・必要に応じて、行を追加していただいて構いません。

令和4年度 緑区民文化センター 管理計画表

項目	業 務	内 容	年回数	実施月	令和3年												令和4年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
電気・ 機械設備	設備総合巡視点検	定期点検	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	電気設備点検	電気事業法に基づく定期点検	12	毎月	○	遠隔監視	○	遠隔監視	○	遠隔監視	○	遠隔監視	○	△	○	△			
	自家用発電機設備点検	消防法、電気事業法に基づく定期点検	2	6・12月			○						○						
	熱源機器等保守点検	定期保守点検	3	4・8・12月	○				○				○						
	空調自動制御点検	定期保守点検	2	6・12月			○						○						
	空調設備保守点検	定期保守点検	2	6・12月			○						○						
	PACフロン簡易点検	定期保守点検	2	6・12月			○						○						
衛生管理	汚水槽清掃、湧水槽清掃	ビル管理法に基づく定期点検	2	8・2月					○						○				
	ばい煙測定	ビル管理法に基づく定期点検	2	8・2月					○						○				
	PCD(害虫防除)	ビル管理法に基づく定期点検	2	6・12月			○						○						
	空気環境測定	定期点検	6	奇数月		○		○		○		○		○		○			
建物等	昇降機保守点検（乗用）	建築基準法12条に基づく定期点検	12	毎月	△	△	○	△	△	○	△	△	○	△	○	△			
	昇降機保守点検（荷物用）	建築基準法12条に基づく定期点検	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	自動ドア保守点検	定期保守点検	4	6・9・12・3月			○			○			○			○			
	シャッター保守点検	定期保守点検	2	6・12月			○						○						
	ピアノ調律・保守管理	定期保守点検	9	5・6・7・8・9・11・12・1・3月		○	○	○	○	○		○	○	○		○			
	ホール座席保守点検	定期保守点検	1	12月									○						
	舞台吊物機構設備保守点検	定期保守点検	3	7・11・3月				○					○			○			
	舞台照明設備保守点検	定期保守点検	2	7・1月				○						○					
	舞台音響設備保守点検	定期保守点検	2	8・2月					○						○				
	舞台映像設備保守点検	定期保守点検	2	10・3月								○				○			
清掃等	日常清掃	定期清掃	347	毎日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	床定期清掃	定期清掃	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	窓枠・窓ガラス定期清掃	定期清掃	3	6・9・3月			○			○						○			
	照明定期清掃	定期清掃	—	—															
警備	機械警備業務	定期点検	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	中央監視カメラ点検	定期保守点検	1	12月									○						
防災等	消防設備点検	消防法に基づく定期点検	2	9・3月							○					○			
	消火水槽清掃	定期点検	(3年に1回実施、次回はR4年度)																

※ 必要に応じて、行を追加していただいて構いません。

注) △は遠隔監視

令和4年度「横浜市緑区民文化センター」収支予算書兼決算書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	116,992,000		116,992,000		116,992,000	横浜市より
利用料金収入	24,123,000		24,123,000		24,123,000	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	2,048,000		2,048,000		2,048,000	
自主事業収入	6,970,000		6,970,000		6,970,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
駐車場利用料収入			0		0	
その他(広告ラック収入・預金利息)			0		0	
収入合計	150,133,000	0	150,133,000	0	150,133,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	78,705,000	0	78,705,000	0	78,705,000	
給与・賃金			0		0	館長・副館長及び時給職員●名
社会保険料			0		0	
通勤手当			0		0	常勤職員・時給職員
健康診断費			0		0	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	6,160,000	0	6,160,000	0	6,160,000	
旅費	120,000		120,000		120,000	出張旅費
消耗品費	1,545,000		1,545,000		1,545,000	事務消耗品費
会議随費			0		0	
印刷製本費	1,464,000		1,464,000		1,464,000	
通信費	958,000		958,000		958,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	目的外使用料等
その他			0		0	リース経費等
備品購入費	609,000		609,000		609,000	
図書購入費	48,000		48,000		48,000	
施設賠償責任保険	290,000		290,000		290,000	
職員等研修費	24,000		24,000		24,000	
振込手数料	60,000		60,000		60,000	
リース料	1,018,000		1,018,000		1,018,000	
手数料			0		0	
地域協力費	24,000		24,000		24,000	地域イベントの協力費等
事業費	10,931,000	0	10,931,000	0	10,931,000	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	4,683,000		4,683,000		4,683,000	
自主事業費	6,248,000		6,248,000		6,248,000	イベントの実施
管理費	52,501,000	0	52,501,000	0	52,501,000	
光熱水費	17,812,000	0	17,812,000	0	17,812,000	
電気料金	13,151,000		13,151,000		13,151,000	
ガス料金	2,748,000		2,748,000		2,748,000	
水道料金	1,913,000		1,913,000		1,913,000	
清掃費	10,957,000		10,957,000		10,957,000	日常・定期清掃費
修繕費	720,000		720,000		720,000	
機械警備費	792,000		792,000		792,000	
設備保全費	13,400,000	0	13,400,000	0	13,400,000	
空調衛生設備保守	3,704,000		3,704,000		3,704,000	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	4,149,000		4,149,000		4,149,000	
害虫駆除清掃保守	966,000		966,000		966,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	4,581,000		4,581,000		4,581,000	ピアノ、音響、コピー機保守費
共益費	8,820,000		8,820,000		8,820,000	
公租公課	912,000	0	912,000	0	912,000	
事業所税			0		0	
消費税	882,000		882,000		882,000	
印紙税	30,000		30,000		30,000	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	924,000	0	924,000	0	924,000	
本部分	924,000		924,000		924,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	150,133,000	0	150,133,000	0	150,133,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		